



にゃんこ隊長が行く！

ふくしま保護猫ネットワーク ～猫と人が良い関係を築くために～



今年の春に立ち上げたばかりのフレッシュな団体『ふくしま保護猫ネットワーク』。



「個人では活動範囲が限られてしまう…だったらみんなで協力できればいいよね」保護猫活動をしている仲間内で話し、なんとなく集まるようになったのがきっかけで、現在は20名ほどのメンバーで構成されています。

今回はメンバーの一人、村田さんにお話を伺いました。

メンバー間では、日々情報の共有や交換をしており、「こういう猫がいて里親さんを募集してるんだけど、いい人いない?」、「ここの病院が親切だったよ」、「うちで保護してある猫をちょっと預かってくれない?」、また猫を保護する際の捕獲協力など、活動する上で協力体制はかかせません。

メンバーが個々に開催する譲渡会があれば、ほかのメンバーが参加することもあります。福島市内の譲渡会はまだ少なく、今後定期的に開催していくのが目標のひとつ。譲渡会で声がかかる猫は半分ほどで、その中でもマッチングできなかった猫や声がかからなかった猫はまた次の機会まで待つことになります。

現在猫の数はものすごく増えているそうで、保護することができても里親さんの元に行けないのが実情だと思います。全国的にみて福島県の猫の殺処分数が多いのはご存じでしょうか。その要因のひとつは野良猫の多さです。子猫が生まれる→育てられない→捨てる、野良猫に餌をあげる→繁殖する…これらは人間側の都合であり、啓発が必要だと思います。野良猫を保護できる数には限界があります。殺処分を防ぐためにも、避妊・去勢をする、餌をあげるときは適度な量にする、病気の猫は病院に連れていく、そんな連携が地域全体でとれることが理想だと村田さんは言います。

この活動は対生き物。「世話も手間もかかるし、お金も場所も必要。少しでも地域のみんなが協力してくれたら嬉しい。猫と人の良い関係を築きたい」と村田さん。

個人で保護猫活動をしている人、興味を持ってくれる人など、これからもっともっと多くの人を巻き込み、活動の幅を広げていきたいというふくしま保護猫ネットワーク。
今後の活躍に注目です。



発信!!市民がつくる地域の魅力 ここから変わるふくしまの未来 ふくしま市民活動フェスティバル2025

11月3日（月・祝）福島市民センターにて「ふくしま市民活動フェスティバル2025」が開催されました。展示ブースでの活動紹介、物販、ワークショップ、ステージ発表、学生による焼きそば屋台などなど…45団体が参加して内容も盛りだくさん！また特別企画として、福島出身のアーティスト大谷望さんの作品展示も開催されました。例年に比べて子ども連れの来場者も多く、もりんも大活躍！多くの市民に団体の活動に触れてもらい、また参加者同士の交流とネットワークの拡大にもつながった素晴らしい1日となりました。



ボランティア体験 開催しました。

ボランティアを始めたい方や興味を持っている方に、気軽にボランティアに参加してもらいたいという想いから、“ふくサポではじめてのボランティア体験”を開催しました。参加者は、学生からリタイア後の方まで様々。ボランティアについて基本を学んだ後、実際に体験してもらいました。センター内の装飾として、ガーランドの作成と本棚の見出し作成、イベントのパネル作成をお手伝いいただきました。皆さん、会話を楽しみながらも真剣に作業に取り組んでくださいました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。ふくサポでは現在、市民ボランティアを募集しています。内容は、今回のような装飾作成や本の整理など、簡単なお手伝いばかりです。ふくサポを市民の皆さんと一緒につくりあげていけたらと考えています。興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。



～ふくサポ講座～

食品ロス・ごみ問題から 福島の未来をみつめよう

未来のために私たちにできることを一緒に考えましょう。

- ◆開催日時 12月20日（土）14:00～16:00
- ◆講 師 福島市ごみ政策課職員
- ◆事例紹介 福島のごみ減量を考える会
- ◆参 加 費 無料



事業報告書作成講座

NPO法人の義務である事業報告書等の提出。書類作成の基本とポイントを学び、自団体で作成できるようになります。

- ◆開催日時 1月23日（金）14:00～15:30
- ◆講 師 福島市地域共創課職員
- ◆参 加 費 無料



※講座内容は変更になる場合があります。

【お問合せ・お申込み】

TEL : 024-526-4533 FAX : 024-526-4560 E-mail : f-ssc@bz01.plala.or.jp

福島市との共創を探る

～市民活動活性化支援事業～*



「2024ルーラルジョイントコンサートin金谷川」編

『金谷川活性化委員会21』は、平成19年に設立し、地域の環境整備や交流促進を通じて、地域の活性化に取組んでいます。会員数は約50名。地域住民や退職者、農業経験豊富なベテラン層を中心として活動しています。主な活動内容は、阿武隈峡遊歩道(2km)の除草作業や整備、福島大学食農学類との連携による田植えや稻刈りなどの農作業支援、カタクリ群生地の整備、遊休農地の整備及び米作りなどで、秋には収穫祭を実施し、地域の人々や学生との交流にも貢献しています。更なる地域の活性化として地域交流音楽イベント「ルーラルジョイントコンサート」の開催にも取組んでいます。

コロナの影響で5年ぶりの開催となった「2024ルーラルジョイントコンサート」。金谷川小学校(2025年3月31日閉校)での最後の開催となることもあり、参加者、地域の方々、金谷川活性化委員会21のみなさんそれぞれの想いを受けて開催の運びとなりました。出演団体との交渉、会場の調整や設営準備、スタッフ確保など課題もあり事務局としても大変でしたが、過去最多の7団体が参加し、地域やPTAの方々の協力も得て成功へ導くことができました。

開催後のアンケートでは、「楽しかった」「毎回楽しみにしている」「また開催してほしい」と喜びの声をたくさんいただき、その声が金谷川活性化委員会21の皆さんのが頑張る力、励みになっているそうです。今年度は、松陵義務教育学校開校を記念して、急遽コンサートを開催しましたが、次回は、2027年開催予定です。

金谷川活性化委員会21では、金谷川地区に限らず、協力していただける方を募集しています。ぜひ、皆さんの力を貸してください。今後も金谷川活性化委員会21の活動の継続と発展を目指していきます。地域、学生、そして人と人との結ぶ取組みは、これからも更に広がっていきそうです。



【コンサートの様子】



金谷川活性化委員会21

TEL 080-6030-7726 (高野様)

E-mail : ken1966isospecial@gmail.com

* 市民活動活性化支援事業とは…多様化する地域課題に対して
公益的な活動を行う市民活動団体を福島市が支援する事業です

編集後記

- 春と秋が少ない極端な気候になった日本だが、人の心は四季折々でありたいね (ふかちゃん)
- 1日24時間は短すぎませんか… (M)
- 急に寒さが身にしみます。イルミネーションの光で心を温めますか～ (s)
- 最近ベーグル作りにハマっています。推し小麦は『春よ恋』！ (優)

福島市市民活動サポートセンター ふくサポ通信 vol.120

発行日／2025年 11月30日 編集／認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

発行／福島市市民活動サポートセンター 〒960-8041 福島市大町4-15 チェンバおおまち3階

TEL 024-526-4533 FAX 024-526-4560 URL <http://www.f-ssc.jp> MAIL f-ssc@bz01.plala.or.jp